

# さくらの里だより

栗原市若柳字川北塚原15-1

0228-32-7515

少し前までは19時を過ぎても外が明るかったのに、気付くと今はもうすっかり暗くなっています。あっという間に日が暮れて、赤とんぼも増えると秋の季節を感じる瞬間ですね。

前にしか進まず引くことを知らないという説と、攻撃性が高く勇敢という「勝ち虫」のイメージが広まり、とんぼは縁起物として好まれていたようです。

よく、子どもの頃、指でグルグル回して目を回させようとしていましたが、実はあまり効果はないとか…。とんぼの目は六角形の個眼が1万～3万個集まってできた複眼を持っており、前後左右ほぼ全て見渡すことができるそうです。背中に近い部分と腹に近い部分でも違う役割を果たしているそうですよ。背中側は自分の上にある空を映すことで高い位置にいる天敵を見つけ、紫外線から青緑色を感知する。腹側は自分の下にある障害物や獲物を見つけ、紫外線から赤色を感知するそうです。だから、とんぼの目は赤く見えたり、水色に見えたりするんですね。納得です。

さて、それでは今月もさくらの里の様子をご報告させていただきます。(チバ)



おまつり

七夕集会(ケアハウス)



8月7日、仙台七夕まつりに合わせてケアハウスでも『七夕集会』を行いました。玄関ロビーの笹竹に短冊を吊るし、ユニット毎に集合し、楽しい時間を過ごして頂きました。コロナ禍でなかなか行事が行えない状況が続いていますが、『たなばたさま』が流れる中、皆さんと一緒に過ごす時間は楽しく、素敵な笑顔を見ることが出来ました。何にも勝る時間ですね(◡◡)。(◡◡)。(◡◡)。◇♡「元気で過ごすべしね☆彡」と、改めて健康で過ごしましょうと声を掛け合い、午後からはおやつに水まんじゅうを食べ、「美味しいね」と満面の笑みがこぼれました。

今後も季節を感じ皆さんの健康を祈りながら、楽しく過ごして頂けるように、職員も笑顔を忘れず過ごしたいと、改めて感じた一日でした。(オジマ)






# 笑顔で体操 (デイサービス)



デイサービスのレク活動の体操について紹介します。

カラオケの通信機器にあるラジオ体操や様々な体操のコンテンツで体操を行っています。ラジオ体操と言っても各地の方言での解説が入っており、岩手弁や秋田弁でのラジオ体操を行うことが多いです。いつものラジオ体操とはひと味違った感じで、皆さんも方言を聴きながら笑顔で体操に参加されています。懐かしい懐メロの唄を使った体操もあります。足の体操や腰痛予防など、身体の各部位を考えた体操になっていて、皆さんも口ずさみながら楽しく体操をされています。♪旅傘道中や十九の春♪が人気の曲です。体操が終わると、「体操すると気持ちいいちゃね」と笑顔で話されています。

また、恒例のカフェ行事では、アイスクリームパフェを味わっていただいています。バニラやチョコレート、抹茶、いちごのアイスクリームの中から好きなアイスを選び、プッシュクリームや果物を添えて自分好みのデザートにしています。暑い季節にぴったりで、皆さんは美味しそうに召し上がっていました。ちなみに一番人気のアイスクリームは、いちごアイスでした。(イワブチ)



# ミニゲーム大会 (特養)



8月19日に予定していた「縁日」が中止になり、少しでも楽しんで頂けたらと思い「ミニゲーム大会」を開催しました(^-^)/ユニット対抗で「輪投げ」と「ボーリング」を楽しみました(^-^)

皆さんが笑顔で楽しんでいる姿をみれて、職員もとても嬉しく思います。

「若柳音頭」を流すと、口ずさむ方や職員と一緒に踊られる方もおられました。短い時間ではありましたが、楽しんで頂けて良かったです。おやつの中にはアイスクリームを皆さんで食べました(^-^)

「冷たくて美味しい」と喜ばれていました!(^-^)!

来年は縁日が開催されるように皆さんもお願いされていました。(ダイサク)



# 流しそうめん (ショートステイ)



流しそうめんを行いました。

天気はあやしかったのですが、流しそうめんをしている間はなんとか持ちこたえてくれて無事開催することができました(´-)-☆

流れてくるそうめんを、立ち上がって待ち構え、上手に箸でつかんで食べられていました。そうめんをうまくとれず大笑いされたり、終始笑い声が絶えない時間でした♪♪♪皆さん意外に「もうお腹いっぱいだ」と手を止められるのが早く、小食っぷりを見せられていました(´▽`)

最後はデザートにゼリーを流して終了。皆さんの美味しそうな笑顔がたくさん見られた時間でした☆

秋の味覚☆これからも美味しい物をたくさん食べて元気に過ごしていきましょうね！ (ミチコ)



## ～ 職員紹介～



- <名前> 高橋 理乃 (タカハシ リノ)  
<部署> 特養さくらの里若柳  
<一言> 4月より新規採用になりました。

仙台医療福祉専門学校で介護の勉強をしました。利用者さんと一緒に笑顔で楽しい時間を過ごしていきたいと思います！！イベントや行事が好きなので楽しい事をたくさん考えていきたいと思っています！よろしくお願いします！！

- <名前> 三塚 美智子 (ミツヅカ ミチコ)  
<部署> さくらの里若柳 ショートステイ  
<一言> 今年の4月より、特別養護老人ホーム山王から

異動してきました。趣味はハンドメイドでお菓子やアクセサリを作ることです！  
まだまだ、不慣れなところはありますが一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します！！



# 今月のスポットライト 若柳中学校

今回は、若柳中学校 加藤正弘校長先生をご紹介します。

コロナウイルスの影響により、交流機会は減りましたが、交流することは私たち職員にとって、いつも新鮮な気持ちになるきっかけとなっています。ありがとうございます。



## 人の中で育ち、育てられる

私の中学校経営の柱の一つが、「人としての生き方・あり方」について学び、考えを深めるキャリア教育の推進です。コロナ禍ではありますが、感染予防策を講じながら「職場インタビュー（中1）」や職場体験学習（中2）」「キャリアセミナー/職業人講話（中3）」等のキャリア体験活動を多くの事業者様の御理解・御支援を賜りながら実施しております。（「さくらの里」様にも様々な形で活動支援を頂いております）。

これらキャリア体験活動の意義の主たるものとして「中学生が自己の生き方と向き合う時間」を創り出すことが挙げられます。様々な職種に携わる大人との活動体験を通して、生徒は事後学習で「自分に向いている職業って？」「10年後の自分は？」等々、日常の座学では困難な「今後の生き方・将来の姿」について思いを巡らす「深い問い」に向き合うこととなります。「人間」という言葉は文字どおり、人が人の中で育ち、育てられる社会的存在であることを示しています。情報化が一層進み、AI（人工知能）の時代となろうとも「人は人の中で育ち、育てられる」ことは不易であり、逆にそのような時代であるからこそ、多感な中学生にとっては、その時期に関わる大人の姿、言動が非常に大きな意味と影響をもつものと考えます。

今後も感染予防を十分に講じつつ、中学生が「地域で学ぶ機会」を大切にしていきたいと考えております。同時に、変化の激しい時代であっても素直で優しくそして、また、少々人見知りでもある本校生徒のリアルな姿を、地域の方々にぜひ知っていただき、挨拶の言葉をかけていただいたり、頑張りを認め励ましていただいたり、社会人として非礼に当たる態度を咎めていただいたり、若中生が「人の中で、人として育っていく」ことを切に期待するものです。

若柳中学校校長 加藤正弘



## 編集後記

夏の行事のご報告は今月号が最後となります。来月号からは、秋らしさを感じる内容となりそうです。

9月にご利用者の皆さんにとっての一大イベント「敬老会」があります♪♪♪それぞれの事業所らしい敬老会を計画中です☆  
お楽しみに(^^) \_U~~  
(アユミ)

